

南三陸町の現状と課題

中庭ゼミ地域政策・観光まちづくり研究室

学籍番号：22011180

名前：鈴木海渡

背景と目的

背景：2011年3月11日に発生した東日本大震災から13年経った今までにどれくらい復興が進んでいるか現状の確認を行うこととした。

調査方法

南三陸町観光協会の方や語り部さんの方に当時の状況を聞いた

取材報告

- ① 南三陸町の雇用の現状はどのようになっていますか？→人の数が少なくなっている
ので労働力確保が課題になっている。ホテル・飲食店でも確保が難しい。水産加工
業でも人手不足になってきている。南三陸町の12年で人口減少が進んでいる。ピー
ク時とどのくらい差があるのか。A：1万7千5百人→1万2千人くらいまでに減っ
ている。その理由は、町外に転出して雇用・住まいを求めに行ってしまう人が多い
から。
- ② 2011年の震災発生時は、直ぐに避難することが出来ていたのか？→対策がとれてい
た状態である。海と関係ないエリアでも津波が来ていた。1年に1回訓練を実施し
ている。日にちは5月23日に実施しているそうだ。エリアごとに分けて訓練をして
いる。地震想定訓練はもともと行っていた。
- ③ 12年で街にどのような変化が生じたのか？→震災前から子供の数も減少してい
るが、震災後ボランティアや観光客の人が増えてきている。
- ④ 観光客はどの地域からくる人が多いのか？→首都圏より仙台圏の方が多い。春・
夏・秋の方が多く、冬場は少なくなってしまう。春・夏・秋の方が多い理由は、行
事関係で来る人が多くいるからである一方で冬場の行事が少ないことが原因ではな
いか。
- ⑤ チリきょう地震の影響が1960年に津波として発生した。さらに、少子高齢化の影響
で2025年までに人口減少が進んでいってしまうと語り部さんが仰っていました。地
震と人口減少の影響により、ピーク時の人口が17,934人いましたが今後2020年～
2045年までに約47.2%減少し約6,500人になります。

総括・まとめ

観光客数は夏場は多く、冬場は少ない。さらに今後高齢者の人口が増えていく一方で、若
者の人口が減ってしまう。雇いをどうやって増やしていくかが重要である。